

2023.5 Vol.101

おうしゅう

福祉だより

OSHU FUKUSHI DAYORI



ホームページ
QRコード



江刺愛宕 放課後児童クラブ



1年生をむかえる会

4月から新しく入った1年生へ、「こんなことして
るんだよ〜」と、一輪車やけん玉などを自信マンマン
で披露しました★

- P 2~3 令和5年度事業計画
- P 4 令和5年度収支予算
- P 5 組織と機構
- P 6 アナタと私のフクシのあした
寄附者の紹介
- P 7 インフォメーション
- P 8 社協のおしごと





令和5年度 奥州市社会

だれもが心の豊かさと幸せを实

事業活動の中心である両計画を更に推進し、これまでの取り
地域共生社会の実現にむけ、今必要とされている事業を的確に把握し、その対

重点項目

1

地域福祉活動計画



1 誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

- ・「ちょっとした困りごと」へ対応できる仕組みを構築するため、地域セーフティネット会議の活動が地域に根付くよう働きかけ、軽度の生活支援に対応できる体制づくりを推進

2 地域の福祉を支える仕組みづくり

- ・社会福祉法人の情報共有の場を設置、法人連携強化のための組織化を推進

3 市民の暮らしや活動を 支える体制づくり

- ・ホームページを活用したアンケート調査の実施、高等学校で行われる総合的な探求の時間や各種事業開催時にアンケート調査を実施し、ニーズを把握



こども食堂



災害ボランティアセンター設置訓練



地域セーフティ

令和5年度新規事業

1. BCP（事業継続計画）の策定

「平常時の対応」「緊急時の対応」を検討し、災害発生時の対応について準備

2. 生活課題を抱えた世帯と地域福祉活動をつなぐ事業

孤立世帯や多頭飼育崩壊、ゴミ屋敷問題への支援体制を後押しする仕組みづくり



福祉協議会事業計画



感できる「福祉のまち奥州市」をめざして

組みで明らかになった課題やニーズを確実に捉えるとともに、
応にむけて市民のみなさま、関係機関と協働しながら取り組んでまいります。

重点項目

2

発展・強化経営計画

1 信頼ある組織・機構づくりと 事業推進体制の見直し

- ・適正な経営におけた組織及び財政のスリム化・効率化のため、中長期的な見通しを立案、内部検証を実施

3 効果的な事業運営と 財政基盤の確立

- ・財産を有効に活用するため、奥州市総合福祉センターなど本会施設に係る今後の運用方針を策定
- ・会費と協賛金の一元化の方向性を検討し、新たな会費のあり方、収納等の方策を立案

2 法人運営と職員管理・育成の強化

- ・キャリアパス制度の導入におけた研修体系の確立に取り組むとともに、人材育成に必要な研修を計画的に実施
- ・ハラスメントアンケートの実施と分析を行い、働きやすい環境づくりにおけて具体的な取り組み方法を協議

4 ニーズに基づいた事業展開と評価 及び支援体制の確立

- ・地域福祉課と介護事業課の合同研修により事業への理解を深め、地域福祉事業と連携した質の高い介護サービスを提供



ネット会議



デイサービスの活動の様子



くらし・安心応援室ミーティングの様子

3. サードプレイス（第3の居場所）設置事業

未就学児や不登校児童の、家庭でも学校でもない第3の居場所を設置

4. 新たな生活支援体制の構築

市民後見人登録者名簿の作成、死後事務委任契約や若年ひきこもり世帯への支援におけた調査、研究



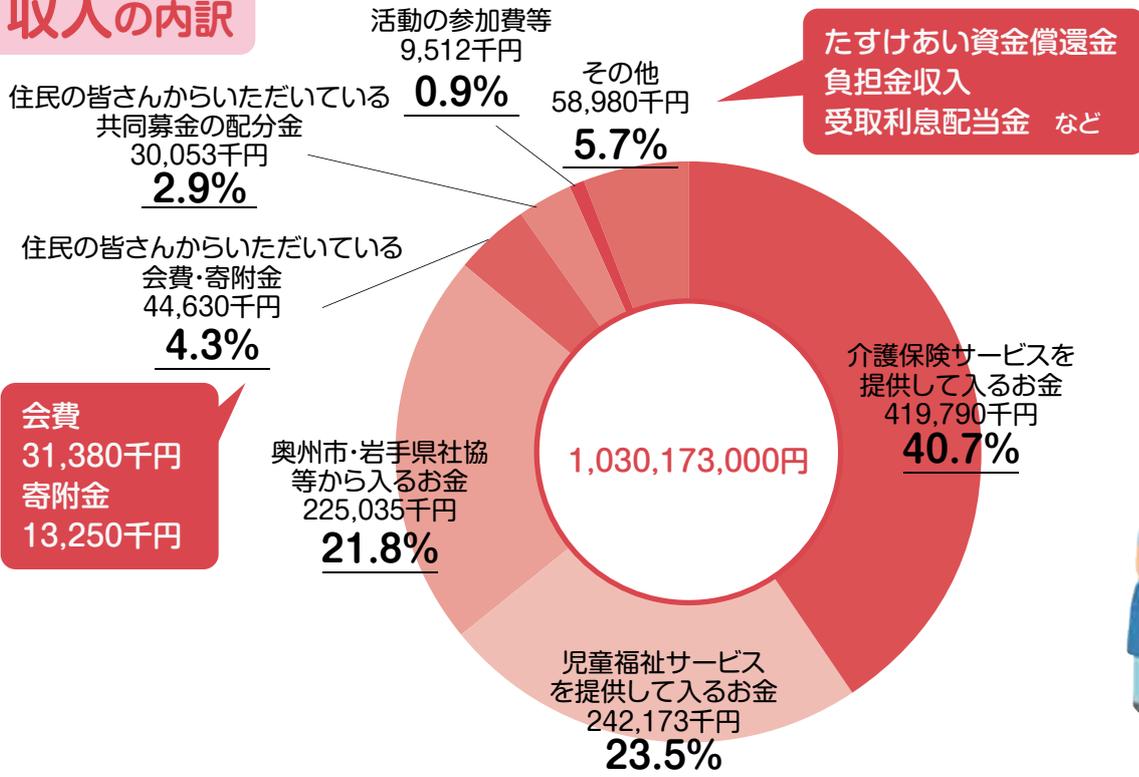
令和5年度収支予算のご報告

皆さんからご協力いただいた会費や寄附金、奥州市や岩手県社会福祉協議会からの補助金委託金等を活用して、誰もが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」を目指して活動します。

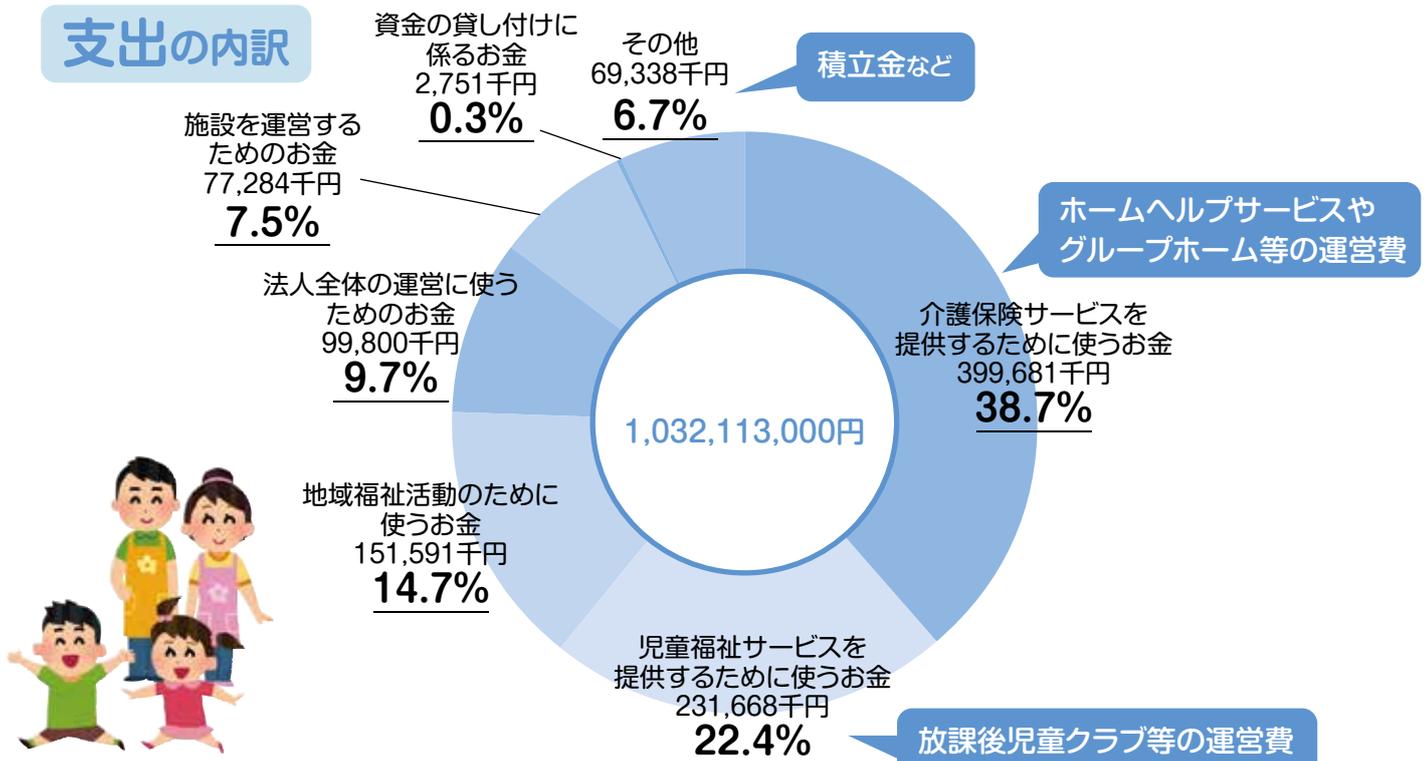
※令和5年度予算の詳細は、市社協ホームページから閲覧いただけます。



収入の内訳



支出の内訳



※ (収入 - 支出) + 前期末支払資金残高 148,812,472円 = 当期末支払資金残高 146,872,472円

令和5年度 奥州市社会福祉協議会の組織と機構



あなたと私のフクシのあした



— 奥州市社協では、皆さんの力をいただき 住みやすいまちづくりを進めています —

市社協では「福祉のまち奥州市」をめざすために、地域福祉活動に関心を持っていただくとともに住民参加によるささえあい活動に取り組んでいます。

より多くの皆さんに住みやすいまちづくりのサポートをお願いしたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。



*一般会費（市内各世帯）	…	会費	900円
*施設団体会費（市内の福祉施設、団体等）	…	1口	2,000円
*賛助会費（市内法人、事業所）	…	1口	5,000円
*ささえあい協賛金	…	1口	1,000円

※ささえあい協賛金は、各地域の事業に全額配分します。



このような事業などに使われています

- 各地区の福祉活動費
- 各地区の福祉団体活動費
- 法人運営費
- ひとり暮らし高齢者のための昼食会開催運営費
- ふれあい・いきいきサロン活動、運営支援
- 地域セーフティネット会議での課題把握と解決に向けた連携
- コミュニティソーシャルワーカーの配置（地域での様々な福祉課題の解決にあたります）
- ボランティア・市民活動センターの運営費（ボランティア連絡協議会の活動支援）

心温まる寄附金をお寄せいただきました

1,494,892円 【令和5年1月1日～3月31日受付分】

《水沢》NTT OB会 会長 及川建一 奥州市総合福祉センター募金箱 小野幸宣
有限会社ケー・マート 鈴木百里子 水沢中央ライオンズクラブ 会長 及川三美
匿名2名

《江刺》活康の会 菊池レイ子

《前沢》小野寺俊光 菅原政紀

《胆沢》及川俊和 菅原淳 鈴木公男 高橋政志 田んぼイルミネーションプロジェクト
代表 小野寺勇輝 渡邊美喜子

（敬称略）

温かいご支援ありがとうございました。

おしらせ

福祉なんでも相談所

誰に相談したらいいかわからない、話を聞いてほしいなど、困っていることはありませんか？
相談所では、社会福祉士などの資格をもつ福祉活動推進員（CSW＝コミュニティソーシャルワーカー）が、
どのようなことにお困りか事情を伺い、助言や問題解決のできる相談機関等を紹介します。
相談料は無料です。まずはお気軽にご相談ください。

- ▼開設日

5月26日（金）羽田地区センター	5月30日（火）広瀬地区センター
6月2日（金）胆沢愛宕地区センター	6月6日（火）北股地区センター
6月9日（金）梁川地区センター	6月13日（火）姉体地区センター
6月16日（金）古城地区センター	6月20日（火）玉里地区センター
6月23日（金）真城地区センター	6月27日（火）若柳地区センター
6月30日（金）米里地区センター	※7月以降の開設日は、お問い合わせください。
- ▼開設時間 午前10時～11時30分
- ▼利用方法 電話予約または、会場へ直接お越しください（予約者が優先となります）。
- ▼問合せ 市社協地域福祉課（福祉のまちづくり支援室） ☎25-6188

精神保健福祉ボランティア養成講座

精神障がいについての理解を深め、当事者の方々と共に支え合う関係性をつくることのできるボランティアの養成を目的として開催します。興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。

- ▼日時 6月29日（木）、7月6日（木）、7月20日（木） 午前9時30分～12時
7月15日（土）午前10時～午後1時 全4回
- ▼会場 奥州市総合福祉センター
- ▼対象者 精神保健ボランティアに興味・関心があり、講座終了後、精神保健福祉ボランティアの活動へ取り組める方
- ▼申込締切 6月22日（木）
- ▼問合せ 市社協地域福祉課（ボランティア活動振興室） ☎25-6188

ファミリーサポートセンター「まかせて会員」募集

ファミリーサポートセンターは、子育ての援助を受けたい「おねがい会員」が、子育ての援助を行いたい「まかせて会員」に有償で援助を依頼しています。「まかせて会員」に登録していただける方を募集していますので、気軽にお問い合わせください。

- ▼資格 特にありません。市内に在住している健康な方。
- ▼活動内容 保護者の用事（通院・学校行事・冠婚葬祭・仕事・リフレッシュ）等で、子どもを連れて行けない場合の預かりなど
- ▼預る場所 ファミリーサポートセンター本部・支部施設内または会員の自宅
- ▼登録 下記ファミリーサポートセンター窓口にて登録をお願いいたします。
- ▼問合せ 市社協ファミリーサポートセンター 水沢・胆沢 ☎25-6309／江刺 ☎35-8081
前沢・衣川 ☎56-2148

広報誌「おうしゅう福祉だより」の発行を見直します

おうしゅう福祉だよりは、市内の旧5市町村と各社協組織の合併に伴い、市内全域を対象として平成18年6月から隔月で発行してきました。

近年、インターネットなどを活用した情報発信の強化が求められていることから、ホームページやSNSの活用など情報発信の手法を見直し、紙媒体での広報は今年度から3か月に1回の発行に変更します。

今後も市民の皆さまに愛される広報づくりを進めたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

- ▼問合せ 市社協総務財政課 ☎25-6158



社協のおしごと



奥州市社会福祉協議会では、5課32事業所の約300人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。

職場 総務財政課
⑫ 胆江地区広域交流センター

Q 胆江地区広域交流センターの職員は何名ですか？



所長：小澤清孝

所長、指導員、補助指導員、あわせて8名です。



Q 胆江地区広域交流センターとはどのような施設ですか？

平成6年に地元住民の憩いの場としてオープンしました。奥州市、金ケ崎町の方々をはじめ、その他地域からもたくさんの方々にご来場いただき、おかげさまでこれまでに158万人を超える皆さまにご利用いただいております。

施設内には、お風呂、温水プール、大広間、研修室、会議室を備え、施設周辺にはグラウンドゴルフ場、ゲートボール場、テニスコートがあり、子どもからお年寄りまで健康増進と自らの暮らしを充実できる施設です。

利用時間は午前10時から午後8時まで（入場受付午後7時）、大人300円、児童100円（就学前の幼児無料）で時間制限なく施設を満喫できます（お得な回数券あり）。ご家族連れやグループ等でお気軽にご利用ください。



Q どのような仕事をしているのですか？

お風呂や温水プールの水質、機械設備の管理を行っています。利用される皆さま方に快適な憩いのひとときを提供するため、施設内外の清掃も力をいれて実施しています。

Q 胆江地区広域交流センターの特徴を教えてください。



胆江ふれあいセンターの愛称で親しまれています。隣接する胆江地区衛生センターのごみ焼却施設の余熱を利用することで、館内の床暖房やプールの水、お風呂の加温を行っています。冬期間などは、床暖房で足元からポカポカ暖かいとご好評をいただいております。

また、温水プールは深さ1.1mの円形プールと60cmの浅いプールの2種類を配置し、歩いて泳いで笑顔、元気がはじけます。

奥州市社会福祉協議会 連絡先

総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181